

認知症の進行に合わせた「家族の心がまえ」や「ケアのポイント」

この表は、アルツハイマー型認知症の進行と主な症状をもとに作成しています。認知症の原因となる疾患やお身体の状況などにより経過は異なりますが、今後を見通す参考にしてください。
 家族や周囲の方が、認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切になります。

認知症の進行	健康	認知症の疑い	ひとりで生活ができる	見守りが必要	手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	自立 ●もの忘れが気になる ●お金の管理や買い物、書類の作成などはひとりでできる 	●もの忘れにより生活しづらさがある ●日にちや時間がわからなくなる時がある ●買い物やお金の管理にミスが見られる 	●買い物やお金の管理ができない ●服薬管理ができない ●電話の応対や訪問者の対応が難しい ●道に迷うことがある 	●以下のことに手助け・介護が必要になる 着替え・入浴・食事・トイレ 洗顔・歯みがき・化粧など 	●車椅子やベッドでの生活が中心 ●食事をとることが難しくなる ●言葉による意思表示・理解が難しくなる 	

家族の気持ち(例)	否定 年齢のせい 言えばできるはず	混乱 認知症状に振り回されてしまう 自分だけがなぜ	拒絶 介護の疲れ	割り切り 受容 どう看取るか
家族の心がまえ	<input type="checkbox"/> 早めに認知症について相談しましょう <input type="checkbox"/> 認知症や介護について学ぶ機会を持ちましょう	<input type="checkbox"/> 心配なことを抱え込まないようにしましょう <input type="checkbox"/> 仲間をつくりましょう	<input type="checkbox"/> 頑張りすぎない介護をしましょう <input type="checkbox"/> 認知症を隠すのではなく、身近な人を理解者や協力者にしましょう	<input type="checkbox"/> 介護をする人も、自分のことを大切に、健康にも気をつけましょう <input type="checkbox"/> 今後のことについて検討し、必要に応じて、施設の情報収集など、早いうちに行っておきましょう <input type="checkbox"/> 今後のことについて検討し、早い段階で医師やケアマネジャーなどと相談し、どういった対応が必要か確認しておきましょう
ケアのポイント	気づき～相談 <input type="checkbox"/> 早めに認知症やその予防、介護に関する相談をする	介護保険の申請など <input type="checkbox"/> 安心した生活が送れる環境を整える <input type="checkbox"/> 介護保険を申請 <input type="checkbox"/> 薬による治療 <input type="checkbox"/> 役割や社会参加の機会を持つ	日常的な支援、行動心理症状や身体合併症への対応 <input type="checkbox"/> 介護保険サービスの利用 <input type="checkbox"/> 地域での見守りや支えあい <input type="checkbox"/> 不安が強くなるなど、症状が悪くなってきた時には、認知症疾患医療センターなどの専門医療機関へ	さらなる介護方針の検討 <input type="checkbox"/> 介護保険サービスの利用 <input type="checkbox"/> 在宅での診療、看護 <input type="checkbox"/> 穏やかに苦痛なく過ごす

本人・家族を支援する 主な制度やサービス等	相談	地域包括支援センター、高齢者福祉課、健康推進課、各支所 ケアマネジャー
	医療	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局 認知症疾患医療センターなどの専門医療機関
	生活支援	ホームヘルパー、デイサービス、ショートステイ、小規模多機能施設、福祉用具などの介護保険サービス 生活支援サービス(配食サービス・ふれあい収集など)、日常生活自立支援事業(かけはし)、成年後見制度
	生きがい 介護予防	介護予防事業(元気ハツラツ教室・高齢者トレーニング教室など)、趣味や特技を活かせる場、市民講座 地域での交流の場(地域のサロン・元気サロンなど)
	地域の見守り	地域での見守りや支えあい活動、民生委員、認知症サポーター
	家族支援	認知症カフェ、家族介護者教室、家族介護者交流会、認知症の人と家族の会 認知症高齢者生活援助事業
	住まい	自宅 サービス付き高齢者向け住宅など グループホーム 特別養護老人ホーム